



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月30日

上場会社名 東り株式会社

上場取引所 東

コード番号 7971 URL <https://www.toli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 元博

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長兼経理財務部長 (氏名) 荒木 陽三

TEL 06-6494-6691

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	19,658	7.9	95		26		22	
2021年3月期第1四半期	18,223	10.8	483		359		245	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 53百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 104百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	0.36	
2021年3月期第1四半期	4.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	74,653	37,519	49.9
2021年3月期	76,817	38,087	49.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 37,265百万円 2021年3月期 37,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		8.00	8.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,000	4.2	250		150		100		1.63
通期	88,000	2.4	1,500	6.0	1,650	18.6	1,000	27.9	16.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	66,829,249 株	2021年3月期	66,829,249 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	5,642,204 株	2021年3月期	5,642,115 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	61,187,107 株	2021年3月期1Q	61,187,646 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染防止に向けた各種施策が実施される中、感染再拡大の懸念を拭いきれず、経済活動の停滞が続いております。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、大都市圏を中心とする大型再開発の着工が進む一方、足下では民間設備投資の計画見直しなどが引き続き懸念され、先行き不透明な状況が続いております。また、原油・ナフサ価格の上昇に伴い主要原材料価格が高騰したことや、人手不足に起因する物流コストの上昇等が影響し、収益面においても非常に厳しい事業環境となりました。

このような状況の中、当社グループは新中期経営計画『SHINKA Plus ONE』を本年4月より展開しております。長期ビジョン<TOLI VISION 2030>の実現に向けて、A. コア事業の強靱化、B. 伸びしろ事業の成長拡大、C. 第5事業の創造、D. グループ横断機能の強化、E. 成長を支える経営基盤の構築、の5つの重点戦略を推進しております。

これらの結果、第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高19,658百万円（前年同期比7.9%増）、営業損失95百万円（前年同期 営業損失483百万円）、経常利益26百万円（前年同期 経常損失359百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益22百万円（前年同期 同四半期純損失245百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。詳細については、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）をご参照下さい。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

<プロダクト事業>

プロダクト事業におきましては、コロナ禍からの回復途上ではあるものの、多くの製品群で売上高を伸ばしました。

塩ビ床材では、医療・福祉施設向け需要が低調に推移したことでビニル床シートは伸び悩みましたが、大型商業施設等での採用によりビニル床タイル「ロイヤルストーン」が伸長するなど、主要製品の需要回復で売上高は前年同期を上回りました。

カーペットでは、オフィスリニューアル需要が大都市を中心に回復傾向であることから、タイルカーペット「GA-100シリーズ」及び「GA3600」が伸長しました。また、巣ごもり需要の拡大により住宅用タイルカーペットやロールカーペットも堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

壁装材では、主力の見本帳であるビニル壁紙「VS」が牽引し、売上高は前年同期を上回りました。

カーテンでは、総合見本帳「フル」は好調に推移しましたが、「コントラクトカーテン」が低調であり、売上高は前年同期を下回りました。

これらの結果、プロダクト事業の売上高は11,806百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

利益面では、原材料価格の高騰が続いておりますが、販管費の縮減等に引き続き努めたことにより、セグメント利益は179百万円（前年同期 セグメント損失107百万円）となりました。

<インテリア卸及び工事事業>

インテリア卸及び工事事業では、前年に工事の中断や延期等があったことや、小口需要が回復基調にあることから売上高は前年を上回りました。また、東璃（上海）貿易有限公司も中国国内における経済活動の回復に伴い増収となりました。

これらの結果、インテリア卸及び工事事業の売上高は12,891百万円（前年同期比8.1%増）、セグメント利益は18百万円（前年同期 セグメント損失70百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産>

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,355百万円減少し、43,439百万円となりました。これは主に、売上債権の回収等に伴う受取手形及び売掛金の減少によるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ191百万円増加し、31,214百万円となりました。これは主に、製造子会社の設備投資に伴う建設仮勘定の増加によるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,163百万円減少し、74,653百万円となりました。

<負債>

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,237百万円減少し、26,333百万円となりました。これは主に、仕入債務の支払い等に伴う支払手形及び買掛金の減少によるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ358百万円減少し、10,800百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,595百万円減少し、37,134百万円となりました。

<純資産>

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ568百万円減少し、37,519百万円となりました。これは主に、配当金の支払等により利益剰余金が減少したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月10日公表の業績予想数値から変更はありません。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況等を含め、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じ、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,361	10,819
受取手形及び売掛金	18,978	15,442
電子記録債権	5,535	5,353
商品及び製品	7,260	7,717
仕掛品	1,260	1,400
原材料及び貯蔵品	1,576	1,702
その他	877	1,043
貸倒引当金	△56	△40
流動資産合計	45,794	43,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,703	6,797
機械装置及び運搬具(純額)	3,021	2,996
工具、器具及び備品(純額)	369	382
土地	9,012	9,012
建設仮勘定	1,880	2,263
その他(純額)	70	64
有形固定資産合計	21,056	21,516
無形固定資産		
ソフトウェア	1,145	1,078
その他	139	126
無形固定資産合計	1,284	1,204
投資その他の資産		
投資有価証券	4,872	4,634
繰延税金資産	879	932
その他	3,191	3,185
貸倒引当金	△262	△259
投資その他の資産合計	8,681	8,493
固定資産合計	31,022	31,214
資産合計	76,817	74,653

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,490	14,317
電子記録債務	5,295	5,512
短期借入金	1,625	2,025
未払法人税等	201	79
未払費用	1,590	1,359
賞与引当金	666	189
その他	2,701	2,849
流動負債合計	27,570	26,333
固定負債		
長期借入金	5,000	4,600
退職給付に係る負債	3,847	3,890
その他	2,312	2,309
固定負債合計	11,159	10,800
負債合計	38,730	37,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,426	6,426
利益剰余金	24,033	23,542
自己株式	△1,271	△1,271
株主資本合計	36,043	35,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,731	1,594
為替換算調整勘定	33	100
退職給付に係る調整累計額	17	18
その他の包括利益累計額合計	1,782	1,713
非支配株主持分	261	254
純資産合計	38,087	37,519
負債純資産合計	76,817	74,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	18,223	19,658
売上原価	13,031	14,120
売上総利益	5,191	5,538
販売費及び一般管理費	5,675	5,633
営業損失(△)	△483	△95
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	83	80
仕入割引	19	19
保険配当金	45	40
その他	36	50
営業外収益合計	185	189
営業外費用		
支払利息	16	15
売上割引	31	32
持分法による投資損失	—	14
その他	13	5
営業外費用合計	61	68
経常利益又は経常損失(△)	△359	26
特別利益		
投資有価証券売却益	77	48
特別利益合計	77	48
特別損失		
固定資産除却損	3	5
投資有価証券評価損	—	2
特別損失合計	3	7
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△285	66
法人税、住民税及び事業税	23	34
法人税等調整額	△63	15
法人税等合計	△39	50
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△245	16
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△245	22

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△245	16
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140	△136
為替換算調整勘定	△2	66
退職給付に係る調整額	3	0
その他の包括利益合計	141	△69
四半期包括利益	△104	△53
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△103	△47
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は82百万円、売上原価は55百万円、販売費及び一般管理費は36百万円それぞれ減少したことにより、営業損失は9百万円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は23百万円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。この適用に伴い、その他有価証券のうち時価のあるものの評価方法について、主として四半期連結会計期間末日前1ヶ月の市場平均価格等の平均に基づく時価法から、主として四半期連結会計期間末日の市場価格等に基づく時価法へ変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の投資有価証券が60百万円、その他有価証券評価差額金が41百万円それぞれ減少し、繰延税金資産が18百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,392	11,831	18,223	—	18,223
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,651	94	4,746	△4,746	—
計	11,044	11,925	22,969	△4,746	18,223
セグメント損失 (△)	△107	△70	△177	△182	△359

(注) 1 セグメント損失の調整額 △182百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,816	12,842	19,658	—	19,658
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,989	49	5,038	△5,038	—
計	11,806	12,891	24,697	△5,038	19,658
セグメント利益	179	18	198	△171	26

(注) 1 セグメント利益の調整額 △171百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。